

# 第177回省エネルギー学習会 会議メモ

・日時：2022年4月1日（金）13：30～15：50

・場所：流山生涯学習センター（流山エルズ）3階 流山市民活動推進センター 大会議室

・タイトル：化石エネルギーの急騰に備える暮らし方

1. でんき予報の見方と利用法
2. 知って得する再エネ新電力への切り替え法
3. 屋根発電+蓄電池+オール電化（HEMS）の進め方

・講師：平手 彰（環境省登録 環境管理士・環境アセスメント学会会員）・参加者：11名（敬称略）

・要約 スマホ等で検索可能な字句は太字で表記しています。

1) スマホ又はパソコンの検索ボタンに、**でんき予報**を入力すると東電のその日の電気使用量が時間推移で分かります。去る3月16日のように大地震で火力発電所が1か所でも止まると東電管内への電力供給余力が3%を割り節電特別警報が流れました。普段からでんき予報で供給余力が10%を切ったら節電に努めましょう。

2) 手元に現在の電気代領収書を用意し、スマホ又はパソコンの検索ボタンで**みんな電気**を入力しあとは画面メニューの手順通りに必要事項をインプットしていきます。再生エネルギー100%の**LOOP**を選択したら現在契約している電力会社からの切り替えを**LOOP**が自動的にやってくれます。スマホ、パソコン不慣れなIさんも現在100%再生電力になりました。LOOPから切替メールが来て再エネ100%電気に切り替えられているのがわかったとのことでした。

工事もハンコもなしに、しかも基本料もないことから日ごろ省エネスタイルの家庭なら電気代も安くなります。省エネ学習会参加者のほとんどが切替済みまたは切替中です。

3) 屋根の太陽光発電からの余剰電気の買取制度（FIT）の順次終了により、買取価格は現在東電では8.5円/kWhと大幅に安くなっています。そこで家庭用蓄電池に余った電気（再生エネ）を貯めておいて夜に使うことで財布にも地球にも優しい暮らし方ができます。これまでより再生エネ自給率が高まり買う電気（化石燃料）が減るからです。またオール電化で割安の深夜電気（化石燃料）で沸かしていたエコキュートも昼間の夕方の太陽光発電で沸かしたほうが夜の入浴までのタンク内保温電力も短くなりその分省エネといいことだらけです。

もちろん雨の日は蓄電池を使い切っても足りない日もありますが**HEMS**で自在に時間帯を変えることができます。

屋根発電+再生エネによるオール電化+蓄電池+HEMSで完全な**ZEH**となった実例で説明しました。

ちなみに築30年の既存住宅でも断熱工事を含むZEH化に各種補助金があります。平手までお問い合わせください。